

『学校力向上に関する総合実践事業』 コーナー その6

今月は、「人材育成・近隣校との連携」について紹介いたします。

人材育成の目的は、教員の成長を支援し、学校力を高めることにあります。そこで、若手教員や将来のスクールリーダーの計画的な育成を目指した取組として、4月から年間20回のテーマ別研修を計画し、実施しているところです。さらに近隣校との連携を進めるため、江差小学校・江差北小学校・江差北中学校にも呼びかけ、3校の若手教員とともにテーマ別研修を進めています。

これまでのテーマ別研修については、以下のとおりです。

回	期 日	担 当 者	研 修 内 容
1	4月 4日（月）	佐藤 亮樹 教諭（南小）	「学級開きのツボ」
2	4月21日（木）	木村 英明 校長（南小）	「今 若手教員に伝えたいこと」
3	5月10日（火）	佐藤 亮樹 教諭（南小）	「家庭との連携」
4	5月19日（木）	笹木 央 教諭（江差小）	「体づくり運動～実技講習」
5	6月 9日（木）	佐久間義人 事務職員（南小）	「ビジネスマナーについて」
6	6月23日（木）	山本 雅樹 主幹教諭（南小）	「ふるさと江差発見学習の取組」
7	8月25日（木）	佐藤 亮樹 教諭（南小）	「分りやすい授業をつくるために」
8	9月 1日（木）	山本 雅樹 教諭（南小）	「いじめ・不登校未然防止の取組」
9	9月13日（火）	米谷 淳 教諭（南小）	「特別支援教育の今日的課題」
10	9月27日（火）	米谷 淳 教諭（南小）	「特別な支援を要する児童への指導と校内体制の充実」

テーマ別研修については、毎回参加者にアンケートをお願いしています。A・B・C・Dの4段階評価を実施しています。9月までの実施においては、A評価が9割以上と肯定的な評価をいただきました。

【参加された若手教員からの感想】

- ・授業を考えるときに目の前の子どもの姿を思い浮かべて問題を作ったり、教材を用意したりすることの大切さを改めて感じました。
- ・不登校は誰にでも起こりえると考え、毎日全員が元気に登校できる学級づくりを目指したいと改めて感じました。
- ・インクルーシブ教育や合理的配慮について理解を深めることができました。

主に若手教員を対象に進めているテーマ別研修については、3月までに月1回から2回の開催が続いていきます。「板書・発問・教材研究について」や「授業づくりのアイデア」等といった内容の研修が予定されています。

テーマ別研修とは別に、10月4日（火）には、函館市教育委員会教育指導課長 寺元 公彦氏の教育講演会を予定しています。本校の研修会に参加された方々の声は、今後の校内研修及びテーマ別研修の充実に生かしたいと考えています。